

九 特許法第四十三條第二項（同法第四十三條の三第三項（実用新案法第十一條第一項及び意匠法第十五條第一項において準用する場合を含む。）及び実用新案法第十一條第一項及び意匠法第十五條第一項において準用する場合を含む。）、特許法第四十三條の三第三項（実用新案法第十一條第一項、意匠法第十五條第一項及び商標法第十三條第一項（同法第六十八條第一項において準用する場合を含む。）において準用する場合を含む。）、実用新案法第十一條第一項、意匠法第十五條第一項、同法第六十條の十第二項及び商標法第十三條第一項（同法第六十八條第一項において準用する場合を含む。）において準用する場合を含む。）の規定による優先権書類の提出

（ファイルに記録されている事項の閲覧に係る手続の指定）

第三十四條の五 法第十二條第一項第一号の経済産業省令で定める手続は、第十条第一号から第四号まで、第六号から第四十一号まで、第四十四号から第四十七号まで、第四十九号から第五十三号まで、第六十一号及び第六十六号に掲げる手続（国際意匠登録出願に係る手続については、拒絶査定等に対する審判に係るものに限る。）とする。

（見込額の予納に係る手続の指定）

第三十八條の二 法第十四條第一項（法第十六條において準用する場合を含む。）の経済産業省令で定める手続は、第十条第一号から第五号まで、第五号の二（イ、ロ、ホ及びヌに掲げる手続に係るものに限る。）、第十五号、第十八号、第十九号、第二十三号、第二十六号、第三十号、第三十一号、第三十八号から第四十二号まで、第五十二号、第五十四号から第五十八号まで、第六十三号又は第六十六号に掲げる特定手続とする。

（口座振替又は指定立替納付者による納付に係る手続の指定）

第三十九條の十 口座振替又は指定立替納付者による特許料等又は手数料の納付の申出をすることができる手続は、第十条第一号から第五号まで、第五号の二（イ、ロ、ホ及びヌに掲げる手続に係るものに限る。）、第十五号、第十八号、第十九号、第二十三号、第二十六号、第三十号、第三十一号、第三十八号から第四十二号まで、第五十二号、第五十四号から第五十八号まで、第六十三号又は第六十六号に掲げる特定手続とする。

（意匠法施行規則の準用）

第六十三條 意匠法施行規則第二條の三から第二條の五までの規定は、法又は法に基づく命令の規定による手続に準用する。

2 [略]

九 特許法第四十三條第二項（同法第四十三條の二第二項（同法第四十三條の三第三項（実用新案法第十一條第一項において準用する場合を含む。）及び実用新案法第十一條第一項において準用する場合を含む。）、特許法第四十三條の三第三項（実用新案法第十一條第一項、意匠法第十五條第一項及び商標法第十三條第一項（同法第六十八條第一項において準用する場合を含む。）において準用する場合を含む。）、実用新案法第十一條第一項、意匠法第十五條第一項、同法第六十條の十第二項及び商標法第十三條第一項（同法第六十八條第一項において準用する場合を含む。）において準用する場合を含む。）の規定による優先権書類の提出

（ファイルに記録されている事項の閲覧に係る手続の指定）

第三十四條の五 法第十二條第一項第一号の経済産業省令で定める手続は、第十条第一号から第四号まで、第六号から第四十一号まで、第四十四号から第四十七号まで、第四十九号から第五十三号まで及び第六十一号に掲げる手続（国際意匠登録出願に係る手続については、拒絶査定等に対する審判に係るものに限る。）とする。

（見込額の予納に係る手続の指定）

第三十八條の二 法第十四條第一項（法第十六條において準用する場合を含む。）の経済産業省令で定める手続は、第十条第一号から第五号まで、第五号の二（イ、ロ、ホ及びヌに掲げる手続に係るものに限る。）、第十五号、第十八号、第十九号、第二十三号、第二十六号、第三十号、第三十一号、第三十八号から第四十二号まで、第五十二号、第五十四号から第五十八号まで又は第六十三号に掲げる特定手続とする。

（口座振替又は指定立替納付者による納付に係る手続の指定）

第三十九條の十 口座振替又は指定立替納付者による特許料等又は手数料の納付の申出をすることができる手続は、第十条第一号から第五号まで、第五号の二（イ、ロ、ホ及びヌに掲げる手続に係るものに限る。）、第十五号、第十八号、第十九号、第二十三号、第二十六号、第三十号、第三十一号、第三十八号から第四十二号まで、第五十二号、第五十四号から第五十八号まで又は第六十三号に掲げる特定手続とする。

（意匠法施行規則の準用）

第六十三條 意匠法施行規則第二條の二から第二條の四までの規定は、法又は法に基づく命令の規定による手続に準用する。

2 [略]

附則

（施行期日）

第一条 この省令は、特許法等の一部を改正する法律（令和元年五月十七日法律第三号をいう。以下同じ。）附則第一条第四号に掲げる規定の施行の日（令和三年四月一日）から施行する。

（経過措置）

第二条 この省令による改正後の意匠法施行規則第二條から第二條の五、第六條から第九條、第十五條（同規則第二十八條の二）を「同規則第二十七條の四の二第四項に規定する様式第三十六の三、同規則第二十八條の二」に改める部分を除く。並びに第九條第一項（特許法施行規則第四條の二第五項及び第六項の規定を読み替えて準用する部分を除く。）、及び第三項（二）と読み替えるものとする。を「第二十八條中「願書」とあるのは「願書（意匠法施行規則第二條の二第一項に規定する願書を除く。）と読み替えるものとする」に改める部分を除く。の規定、様式第三項（二）と読み替えるものとする」に改める部分を除く。の規定、様式第二條の二、様式第六、様式第十四及び様式第十四の二及び別表並びに工業所有権に関する手続等の特例に関する法律施行規則第三條、第十條（第三十九号に係る部分を除く。）、第十一條、第十二條、第十九條、第二十三條、第三十條、第三十四條、第三十四條の二、第三十四條の五、第三十八條の二、第三十九條の十及び第六十三條の規定は、この省令の施行の日以後にする意匠登録出願について適用し、この省令の施行の日前にした意匠登録出願については、なお従前の例による。

2 この省令による改正後の意匠法施行規則第十五條（同規則第二十八條の二）を「同規則第二十七條の四の二第四項に規定する様式第三十六の三、同規則第二十八條の二）と読み替えるものとする」を「第二十八條中「願書」とあるのは「願書（意匠法施行規則第二條の二第二項に規定する願書を除く。）と読み替えるものとする」に改める部分を除く。の規定、様式第三項（二）と読み替えるものとする」に改める部分を除く。の規定並びに工業所有権に関する手続等の特例に関する法律施行規則第二十三條の四の規定は、この省令の施行の日前に特許法等の一部を改正する法律第三條の規定による改正前の意匠法第十五條第一項及び第六十條の十第二項において読み替えて準用する特許法第四十三條第二項に規定する期間を経過している意匠登録出願については、適用しない。

3 この省令による改正後の意匠法施行規則第十九條第一項（特許法施行規則第四條の二第五項及び第六項の規定を読み替えて準用する部分に限る。）並びに工業所有権に関する手続等の特例に関する法律施行規則第十條第三十九号の規定は、この省令の施行の日前に改正前の意匠法の規定により特許庁長官、審判長又は審査官が指定した手続をすべき期間を経過している手続については、適用しない。